

ニューソフィア

New Sophia

70号

[Vol. 19-2]

福岡歯科大学は「口腔医学」を推進しています



Seasonal Topics

次代の口腔医学を担う
新入生たちが入学！

国立阿蘇青少年交流の家で開催

平成23年度入学式

2

新入生研修会

3

Featuring News

「福岡歯科学園 第二次中期構想」を策定 上海交通大学と国際交流

4

情報センター、解剖実習室など改修完了ほか

6

[College News & People]

平成22年度卒業式・修了式ほか

新役職教員決まる

退職者からのメッセージほか

新任・昇任教員ご紹介

学友会総務委員長、

父兄後援会長決定ほか

From The Alumni Association

同窓会だより

Hi! From Clinic

柿木歯科診療所

京都府木津川市

たのうえ歯科医院

福岡県福岡市

Message From Students & Parents

学生 & 保護者様からの

メッセージ

Information

平成24年度入試日程

オープンキャンパス案内

入学式

新たな気持ちを抱き、勉学に励むことを誓った新入生たち 平成23年度入学式が厳かに挙行されました

福岡歯科大学

北村大学長の言葉に
「口腔医学」の重要性を
新入生たちも認識



新入生の入学を祝って、校歌を斉唱する
グリークラブのメンバーたち



入学にあたっての決意を述べる新入生代表・佐野大成さん



新入生への期待を込めて、
式辞を述べる北村憲司大学長

師』として、大きく成長され、日本の、そして世界のリーダーとして、新しい時代を先導してくださることを大いに期待します」と述べました。

福 岡歯科大学歯学部・大学院の平成23年度入学式は4月1日、来賓ならびにご家族の列席のもと、福岡歯科大学本館講堂で挙行されました。

緊張の面持ちの歯学部新入生に北村憲司大学長は、「医学、医療に興味を持ち、本学で歯科医師を目指す決心をされ、今日の入学式を迎えられた新入生の皆さんの決断に、心から敬意を表します」とともに、今日の決意を忘れずに学の研鑽に励んでいただきたいと思います。社会構造の変

化によって、歯科医療も今、大きく変わろうとしています。歯科医療は単に、歯の病気を治すために必要なのではなく、歯や口腔によってもたらされる豊かな表現、社会活動を円滑に行うために必要なものです。次代の国民の健康を守ることに、常に心を砕きながら、「口腔医学」という本学での学びの六年を過ごされることを切に希望します」と期待を込めて語りました。

また、大学院入学生に対しては、「歯科医療が生命科学の一分野として広がっていくためには、科学的思考に口腔医学としての再編が必要であり、その再編は皆さんの創造性と哲学性と倫理性に掛かっています。指導教授の情熱ある指導のもとに、新しい口腔医学の担い手として、臨床と研究を結ぶ洞察力を持った歯科医師」として、大きく成長され、日本の、そして世界のリーダーとして、新しい時代を先導してくださることを大いに期待します」と述べました。

福岡医療短期大学

高齢化社会における
口腔ケアの必要性を
認識した新入生たち



新入生あいさつは坂本未和さん(歯科衛生学科/左)と
杉山綱紀さん(保健福祉学科/右)が務めました



福 岡医療短期大学の平成23年度入学式は、キャンパスに桜が咲き誇る4月6日、福岡歯科大学本館講堂で執り行われました。式辞の中で相冨洋短大学長は、「本学は、他大学にはない特色として、

キャンパス内に医科歯科総合病院の他、介護老人保健施設、特別養護老人ホームの2つの施設を設置しており、そこで介護のできる歯科衛生士、口腔ケアもできる介護福祉士の養成に力を注いでおります。将来、皆さんは、知識や技術の修得だけでなく、口腔ケアに必要な患者さんや介護の必要なお年寄りに優しい心で接することができる歯科衛生士や介護福祉士になっていただきたい。また、専攻科に入学の皆さんは、日本で初めて認定された口腔保健学の学士取得のため、これから更に口腔ケアの高度な知識や技術を身に付けるとともに向上心と好奇心をもって、日本の歯科衛生士のレベルを更に引き上げていただきたいと思います」と述べ、希望に胸をふくらませた新入生にエールを送りました。



式辞を通して、新入生たちにエールを送る相冨洋短大学長

新入生研修会

今年も、国立阿蘇青少年交流の家[®]で同級生や教職員との絆を深め合いました
2日間にわたって新入生研修会を実施

福岡歯科大学

6年間のスタートに改めて
 気を引き締めた新入生たち

4月8日、9日の2日間、平成23年度
 新入生研修会が国立阿蘇青少年
 交流の家で実施されました。理事長と
 大学長による講話、メンタルヘルスや

キャンパス倫理に関する講義、熊本市
 大慈禅寺での座禅体験などが行われ
 るなか、新入生は助言教員との親睦を
 深めることができました。これからの
 6年間、学業や学生生活を過ごす仲間
 たちとともに有意義なスタートが切
 れたことでしょう。



福岡医療短期大学

名所見学やレクリエーション
 などで親睦を深めました

4月15日、16日の2日間、平成23年度新
 入生研修会が国立阿蘇青少年交流
 の家で行われ、歯科衛生学科と保健福祉

保健福祉学科



歯科衛生学科



学科は大観峰見学、
 キャリアガイダンスや
 レクリエーション活動
 で新入生と上級生、
 教職員との親睦を深
 めました。



学園運営

「福岡歯科学園 第二次中期構想」を策定

教育・研究、学生支援、社会連携・社会貢献、組織運営の分野で新たな取り組み

本学園の中期の将来ビジョンについては、平成12年8月に「新世紀へ向けての将来構想」を発表して以降、平成16年5月には「福岡歯科学園の中期構想」を策定し、その後2度の改訂を経て平成22年度までの構想を纏めておりました。この度、平成23年度を迎えるにあたり、新たに平成28年度までの6年間を期間とする「第二次中期構想」を策定しました。この第二次中期構想は、教育・研究、学生支援、社会連携・社会貢献、組織運営の5つの項目を柱として、基本となる構想とその具体的な目標を掲げています。今後は当該中期構想を旗印に、その実現のため教職員一丸となって取り組んで参ります。

【理事長 田中健蔵】

「第二次中期構想」の策定目的

「第二次中期構想」の基本構想

- 1 知識基盤社会の進展を見据え、医学・医療との連携強化を基盤とした口腔医学教育の創設・育成を図るとともに、医療保健福祉分野における実践の高度専門職業人を育成する。
- 2 生命科学を基盤とした口腔医学の基礎的・応用的な研究マインドの涵養を図るとともに、国内外の大学院・研究機関等との連携も視野に入れた研究体制を構築する。
- 3 多様化する学生・社会ニーズを踏まえ、学習意欲の旺盛な学生の受け入れに努めるとともに、自主的に勉学に励むことができる教育研究環境の整備・充実を図る。
- 4 口腔医療・口腔ケアの高度専門医療の中核拠点として、かつ、歯学から口腔医学へのフロントランナーとして国内外の多様なパートナーとの連携協力に努める。

国 民医療向上のため、真に実効のある教育を行い、高度の専門的能力と豊かな人間性、厳しい職業倫理観を備えた教養ある歯科医師、歯科衛生士、介護福祉士の育成を通じて社会に貢献するとともに、口腔医学を創設・育成して特色ある教育研究の実践および医歯学部の進展に寄与する。このため、次に掲げる目標の実現を目指す。

- 5 法人組織と教学組織が一体となつて、社会経済状況の変化や時代の要請に的確に対応するとともに、安定した財政基盤の維持および効率的な大学等の運営にあたる。

「第二次中期構想」の具体的目標

① 教育に関する目標

- (1) 確たる倫理観を持ち豊かな人間性を備えた、教養ある医療人の育成を目指す
- (2) 口腔医学の確立・育成
 - 口腔医学の学問体系の確立・育成に向けて、学界・医療界・行政等の理解・協力を得るため、関連国公立大学および関係諸団体との連携強化を図る。
 - 高齢化社会における臨床現場のニーズを踏まえ、口腔医学教育の改

- (3) 歯学部
 - 新たな口腔医学モデルシラバスを導入し、一般医学科目の充実を図るとともに、医歯学連携演習や診療参加型実習の内容の充実を図る。
 - 自己問題提起・解決型の創造力を持った人材を育成するため、学生の学習意欲や教育効果を高めるとともに、より精度の高い学習到達度の判定方法を開発する。

④ 大学院の教育

- (4) 大学院の教育
 - 高度な研究能力と国際性豊かな人材を育成するとともに、高度専門職業人を育成する社会人大学院の教育体制を充実する。
 - 口腔医学を基盤とした新領域や融

合研究領域など社会のニーズに対応できる高度な知の人材養成のための組織的・継続的な教育を推進する。

⑤ 医療短大の教育

医科歯科総合病院・介護老人保健施設等との連携により、高度かつ実践的な教育を行う。

口腔保健・口腔介護要介護者への口腔ケア教育を充実し、歯科衛生士・介護福祉士への志向を高めるとともに、専門的口腔ケア技術の教育内容・指導方法について継続的に検証・改善を行う。

社会のニーズ等を踏まえて、歯科衛生士課程への転換および保健福祉学科の存続・改廃等、短期大学の将来的な在り方を抜本的に検討する。

⑥ 教員の教育能力および教育の質の向上

授業評価とその検証方法の整備、組織的研修活動の継続実施等により、教員の教育能力向上を図る。ファカルティティベロップメント(FD)の一環として、授業研究懇談会、授業の相互参観、セミナー等、教育の質の向上のための取り組みを強化する。

⑦ 国家試験

歯科医師国家試験合格率の上位定

着および共用試験の全員合格を目指す。歯科衛生士・介護福祉士国家試験については全員合格を目指す。

② 研究に関する目標

(1) 研究の質の向上

口腔医学を基盤とする基礎的・応用的研究および社会のニーズに応える先進的研究を推進するとともに、関連する大学・研究機関との連携による研究を漸進的に実施する。研究マインドの涵養に努めるとともに、国内外の若手研究者や意欲的な研究活動に対する支援のため、研究マネジメント体制を整備する。

学内の研究センターを活用し、時代のニーズを先取りした研究の遂行、関連する情報データの収集分析等により、口腔医学領域の研究教育拠点を創出する。

(2) 先端科学研究センター

「疾患の抑制におけるゲノム安定性と環境ストレスの制御」に関する研究の一層の充実を図り、研究基盤形成支援事業を推進する。

(3) 再生医学研究センター

「生体内環境を調和する硬組織再建システム」に関する研究を充実して、研究基盤形成支援事業を推進する。

③ 学生の支援等に関する目標

(1) 修学等の支援

学生のニーズにこたえる修学支援システムや主体的学習支援体制の整備・充実を図る。

口腔医療・口腔保健・口腔介護を志向する高校生を適切に支援するため、高校との連携教育プログラムの開発等による連携促進を図る。

学生の経済支援・課外活動支援の充実や口腔医療分野への就職機会の拡充を図るとともに、学生共済会や同窓会との連携を強化する。

(2) 学生の受け入れ

真に国民の医療・保健・福祉に貢献しようという学生を確保するため、入学制度や試験制度のあり方について不断の見直しを行う。

ホームページでの入試広報機能の充実、同窓会との連携等によるリクルートの拡充等、戦略的で積極的な学生募集活動を行い、募集人員の確保に努める。

④ 社会との連携・貢献に関する目標

(1) 医科歯科総合病院における、安全で良質な医療の提供

安全で良質な医療の提供

効率的な診療責任体制を構築するとともに、医科と歯科の連携システムを整備強化し、患者中心の安全かつ質の高い全人的医療を提供する。診療要員を安定的に確保し、土曜

日診療等の充実を図るとともに、先進医療に対応できる人材を育成する。最新の医療セミナー等を開催し、先端的医療知識の理解と普及を図るとともに、卒前教育・卒業研修については実践的・効率的な教育・研修プログラムの整備を図る。

(2) 医科歯科総合病院の管理体制の整備・強化

病院内コンセンサスに留意しつつ、病院全体の視点から機動的・戦略的に病院運営を遂行できるマネジメント体制を確立する。

各診療科や病院全体の運営の効率化と財政基盤の充実に資するよう、各診療部門別管理会計データ等を整備・活用する。

患者数および診療単価の増加、病床数の増加および適正な病床稼働率の維持を図り、毎年度数値目標を設定し、目標達成に努める。

病院の新築等および病院施設・診療設備等の効率的かつ計画的整備を図る。

(3) 介護老人保健施設 介護老人福祉施設

介護老人福祉施設

地域の保健・福祉への貢献とともに、大学・短大等の教育研究の場および地域の本フロンティア活動の場として活用を図る。データサービスの利用者増を図る。

(4) 社会連携 国際連携

西部地区五大学および地下鉄七隈線沿線三大学の連携を推進し、地域貢献活動を拡充する。

県・市および歯科医師会等との連携を拡充し、公開講座や歯科医師卒後研修等の教育・研修プログラムを実施する。

海外の医歯系大学・研究機関等との教育研究連携を積極的・組織的に展開しネットワークを構築拡充する。優秀な留学生確保のための活動を推進するとともに、学習支援、経済的支援を充実する。

⑤ 組織運営に関する目標

(1) 組織運営の改善

教育研究のマネジメントや組織体制の在り方について不断の点検と見直しを行い、本学の使命に照らした適正な全体規模、組織やキャンパス施設の在り方について積極的に検討を進める。

教員の雇用および勤務形態について、研究・教育・診療の実際と必要性に即した、柔軟で多様な人事制度を構築する。

事務や事業の見直しを加速し、コスト意識を徹底するとともに、事務組織の効率化を図り、必要に応じて事務組織の再編・統廃合を行うとともに、職員の採用・配置については長期的な経営戦略等を踏まえて計画的に行う。

人事考課システムを効果的に活用するとともに、業績評価を充実し、大学運営の活性化を図る。事務職員について、業務評価・業務改善を主眼として人事考課制度を活用し、職員の主体性を持った業務遂行の促進を図る。

(2) 財政基盤の確保

学園の自己資金である基本金等について、安全かつ有利な運用を行うとともに、教育研究振興基金等の計画的な積み立てを引き続き行う。

外部資金獲得を促進するため外部資金に関する情報の収集や申請事務円滑化のための支援体制を整備するとともに、学内の研究計画とのマッチングなど外部資金獲得につなげる取り組みを推進する。

医療の高度化を図り、高度かつ良質な医療を提供するとともに、病院の効率化・私費料金等の見直しを行うことにより収入の増加を図る。

業務運営の合理化・効率化を図るとともに、費用対効果が有効な業務について外部委託を実施する等、管理的経費の抑制に努める。

(3) 評価システムの充実および情報公開等の推進

情報公開等の推進

自己点検・評価を適切に実施するとともに、実施した自己点検・評価等の結果を分析・活用し、実施方法や効果等について継続的な見直し改善を行う。

病院の機能評価を平成24年度に、大学の認証評価を平成25年度に、短大の認証評価を平成26年度に、それぞれ受審する。

財政状況および教育研究活動等についての積極的な情報公開に努める。

(4) 安全管理および法令遵守

学生や地域の人々にとって快適・安全で環境に配慮した魅力あるキャンパスづくりを計画的に推進する。

教育・研究・診療・運営の全ての学園活動を支える安全安心な情報管理体制を構築する。

監事および公認会計士と連携して内部監査を適正に実施し、顧問弁護士など外部専門家と連携して各種ハラスメント等に適切に対応するとともに、学園経営・業務運営適正化のための法令遵守を徹底する取り組みを強化する。

第一次中期構想の期間

平成23年4月1日から平成29年3月31日までの6年間とする。



国際交流

中国の歯学教育、研究、診療、
そして友情に出会った8日間

生体構造学講座 機能構造学分野 教授
稲井哲一朗

上海交通大学との交流のため、都築講師学生7名とともに8日間の研修に行つて参りました。中国には人民病院が10あります。我々が見学した歯科は第9人民病院の中にあり、口腔外科が有名です。歯科の守備範囲は広く、顎から上の領域は歯科が扱います。歯学部は5年間で、卒後に国家試験 実技と筆記試験、合

格率約80%を受けますが、ほとんどの学生が口腔外科などの専門科に進み2年間勉強します。定員は約60名で、その内約20名が留学生です。診療は想像以上に近代的で、チェアは個々に仕切られ、5年生は教員の指導の下に患者の治療を行います。この見学で学生は大いに刺激されたようです。また、副院長の張建中教授を中心に完璧なエスコートで、観光懇親会でも存分に楽しませていただきました。帰国時に学生が抱き合つて泣いていたのが印象的で、有意義な交流ができました。最後になりますが、田中理事長、北村学長、関係の皆様へ深く感謝いたします。



講演会后、両国の学生が集まっての記念撮影



豫園を満喫する学生たち

施設改修

本館情報センター、学務課の改修工事が完了

新しくなった情報センターはオープンスペースとなり、学生の学習および学習支援の場として使用できるように一新されました。学務課は学生ホール側が全面ガラス張りとなり、自動ドアも設置され学生が気軽に相談できる場となりました。

また、学務課の改修工事に伴い1階と5階の学生ホールのテーブル等のレイアウトを変更し、自習などに利用しやすくなりました。



フリースペースが設けられた情報センター



学生ホール1F(写真手前)と明るい空間に変身した学務課入口(写真奥)

解剖実習室の改修工事完了

平成22年度私立大学・大学院等教育研究装置施設整備費補助金「実習重視型・多学年型解剖学教育のための解剖実習室視聴覚機材整備事業10ICT04(353万9000円)」およびICT活用推進事業補助金「フィルター付排気装置一体型解剖実習台並びに水平式プッシュプル局所換気装置10教育装置00(1814万8000円)」の内定を受けて行われた解剖実習室の改修工事が、平成23年3月14日、無事に竣工しました。本学の口腔医学教育の特徴の一つに解剖学教育の重点化があり、1年次に見学実習、2年次に正規の解剖実習、また6年次に卒業前頭頸部解剖実習を行っております。この度の改修工事で導入した新しい解剖台には外気導入口と排気の吸気口が設置されており、解剖実習を居住空間と同等の環境で行えるようになりました(実習用ご遺体の上でホルマリン検出濃度が0.1ppm以下)。また、実習室の壁には4台の大画面モニターが敷設され、ライターの学生の間を動きながらハイビジョンカメラ(写真)で撮影し、学生は他の班の解剖とライターの指導をリアルタイムで観察しつつ効率よく学習することができるようになりました。



ハイビジョンカメラからの映像を映し出す大型モニターと新しい解剖実習台



北村憲司大学長より卒業証書を手渡される卒業生

卒業式・修了式 I
第33回 大学卒業式 / 第23回 大学院修了式
学部卒業生 97名、
大学院修了生 9名に学位授与

福岡歯科大学の第33回卒業式ならびに第23回大学院修了式が、3月19日午前10時から本館講堂で執り行われ、北村憲司大学長より歯学部卒業生97人に卒業証書・学位記が手渡され、大学院修了生9人には博士(歯学)の学位記が授与され、また、学業成績優秀者3名、および学友会功労者5名について、在学中の功績を讃え、表彰しました。

した大学院修了生の学位論文について下記をご参照ください。

表彰者(大学)

学業成績最優秀者

- 【理事長賞】橋本 明枝
- 【学長賞】板家 圭祐・伊東 良哲

学友会功労者

- 【総務委員長】毛利 收孝
- 【体育部会長】有永 誠
- 【学術文化部会長】中山 興助
- 【学園祭実行委員長】瀬野 恵衣
- 【体育祭実行委員長】陶山 大輝

大学院修了生に授与された博士(歯学)の学位記



答辞を読む、卒業生代表の毛利收孝さん

この度、3年間で大学院を修了された大城先生(写真前列右から2人目)に、コメントをいただきました。

「いのち」にふれた大学院での日々

歯周病学分野 大城 希美子
 (平成22年度・大学院修了)

私たち医療に携わる者は、目には見えないが確実にある「いのち」に、常に向き合っています。成長する「いのち」もあれば、絶えてゆく「いのち」もあります。「いのち」について学んだ学部学生時から、公私とも「いのち」にふれたのが大学院の日々でした。もともと生き物を対象とした実験・実習にまったく興味を持ってないどころか、叶うならばその場から逃げたいとてたまらなかった私にとって、マウスを手に載せ、触れ、その「いのち」を頂くことは涙の日々でした。しかし保存科の泉准教授から『ごめんなさい』ではなく、『ありがとう』の気持ちで接しなさい、だからこそ命を無駄にしてはいけない!とのご助言を頂き、そこにある「いのち」の尊さに、また一歩ふれることができました。私には一人息子がいます。大学院進学時には小学6年生であった彼も、まもなく中学3年生になります。少年から青年への階段を一段一段のぼりゆく姿は、私に「いのち」の輝きを教

えてくれます。また、2年前に愛する父が他界しました。いつも私を叱咤激励してくれた父は、最後に人の「いのち」の終わりを教えてくれました。伸びゆく「いのち」、終わる「いのち」。感謝。母校の研究環境は素晴らしいと断言できます。それは設備、機器のみならず、「いのち」にふれる厳かな想いと真摯な姿勢を全身で示される先生方がいらっしゃるからです。学部卒後の進路でお迷いの方、どうぞ母校大学院へと進学して下さい。素晴らしい世界への扉はすぐそこにあります。最後に、未熟で怖がりの私を見放さず、いつもご指導ご配慮を賜りました岡部教授はじめ諸先生方、また研究に専念できる環境をお与頂きました坂上教授はじめ医局の皆様にも深く御礼申し上げます。「いのち」にふれたこの大学院研究を、私はこれからの研究の礎として生涯大切にしていきたいと思います。

学位論文紹介

| | |
|---------------------|---|
| 甲 第216号 岩元 知之 | Effects of probiotic Lactobacillus salivarius WB21 on halitosis and oral health: an open-label pilot trial (Lactobacillus salivarius WB21株を用いたプロバイオティクスが口臭と口腔の健康に及ぼす効果: 非盲検的予備実験) |
| 甲 第217号 福岡 宏士 | Influence of carbon dioxide laser irradiation on the healing process of extraction sockets (CO ₂ レーザー照射における抜歯窩治癒過程への影響) |
| 甲 第218号 吉田 兼義 | Effect of embedded metal reinforcements and their location on the fracture resistance of acrylic resin complete dentures (レジン床総義歯の破壊抵抗に関する金属補強線とその位置の影響) |
| 甲 第219号 中島 一記 | Stretching stimulates fibulin-5 expression and controls microfibril bundles in human periodontal ligament cells (ヒト歯根膜線維芽細胞において細胞伸展は、fibulin-5の発現を促進し微細線維束を調整する) |
| 甲 第220号 佐々木 美智子 | Higher contents of mineral and collagen but lower of hydroxylysine of collagen in mandibular bone compared with those of humeral and femoral bones in human (ヒト下顎骨の高いミネラル、コラーゲン量と低いコラーゲン水酸化リジン量: 上腕骨および大腿骨との比較) |
| 甲 第221号 大城 希美子 | Antibodies against CIC7 inhibit extracellular acidification-induced Cl ⁻ currents and bone resorption activity in mouse osteoclasts. (抗CIC7抗体はマウス破骨細胞の酸活性化Cl ⁻ 電流と骨吸収活性を抑制する) |
| 甲 第222号 中山 修二 | Effects of oxidative stress on the expressions of 8-oxoguanine and its eliminating enzymes in human keratinocytes and squamous carcinoma cells (ヒト角化細胞と扁平上皮癌細胞における8-oxoguanine及びその排出酵素の発現に対する酸化ストレスの作用) |
| 甲 第223号 来海 慶一郎 | Zoledronic acid inhibits RANK expression and migration of osteoclast precursors during osteoclastogenesis. (ビスフォスフォネート製剤のゾレドロン酸は破骨細胞分化における破骨細胞前駆細胞のRANK発現と遊走能を抑制する) |
| 甲 第224号 別府 健介 | Peri-implant bone density in senile osteoporosis - changes from Implant placement to osseointegration - (老年性骨粗鬆症におけるインプラント周囲骨の骨密度 - インプラント埋入から骨結合達成までの変化 -) |
| 【学位授与日:平成23年3月19日】 | |
| 乙 第81号 香川 豊宏 | Quantitative evaluation of vascularity within cervical lymph nodes using Doppler US in patients with oral cancer: Relation to lymph node size. (超音波ドップラ法による口腔癌患者における頸部リンパ節の血流所見の定量的評価、リンパ節の大きさとの関連について) |
| 【学位授与日:平成22年11月30日】 | |
| 乙 第82号 阿部 朗子 | 顎態模型の3次元形状計測による下顎側方偏位症例における歯系の補償の検討 (Analysis of dental compensation in cases with mandibular lateral deviation using three-dimensional measurement of gnathostatic models) |
| 【学位授与日:平成23年3月31日】 | |



栢豪洋短大長より卒業証書を授与される卒業生

卒業式・修了式II
第13回医療短大卒業式/第12回医療短大専攻科修了式
福岡医療短期大学卒業生92名、
同専攻科から修了生10名に学位授与

福岡医療短期大学の第13回卒業式ならびに第12回専攻科修了式が3月10日午前10時から福岡歯科大学本館講堂で執り行われ、歯科衛生学科76人、保健福祉学科16人の卒業生に対し栢豪洋短大長より卒業証書が授与されました。また、専攻科口腔保健衛生学専攻の10人は、修了証書を授与されました。さらに、独立行政法人大学評価・学位授与機構の定める学修成果・試験の審査に合格し、「学士(口腔保健学)」の学位を授与されることとなり、学位記も併せて伝達されました。



会場入口で一緒に学んだ仲間たちと記念撮影



答辞を読む、卒業生代表の保健福祉学科 石原彩花さん



保健福祉学科の謝恩会



歯科衛生学科の謝恩会

専攻科学位取得者

- ・岩下 望 ・空田 加奈子
- ・上原 由貴 ・高島 朋子
- ・片淵 瑞穂 ・中島 綾子
- ・國師 奈保子 ・中村 恵理
- ・小園 知佳 ・若村 歩

表彰者(短期大学)

学業成績最優秀者

- 歯科衛生学科
【理事長賞】永岡 秀子
【短大賞賞】有働 聖菜・城山 綾乃
- 保健福祉学科
【理事長賞】増田 義弘
【短大賞賞】石原 彩花

第20回 歯科衛生士国家試験結果

2年連続の合格率100%。
学生、教員の努力が実る!

3月28日、厚生労働省から「第20回 歯科衛生士国家試験」の結果が発表されました。福岡医療短期大学・歯科衛生学科からは卒業生76人(既卒者0人)が受験し、合格者は76人、合格率は100%でした。ちなみに全国の平均合格率は96.5%でした。

昨年度は、国家試験対策として、国試問題集の出題範囲を限定した演習試験を15回実施し、各回の成績不振者(約20名)に対して、水曜・金曜日の放課後と土曜日に補習を行いました。また、演習ならびに模擬試験の成績不振者には冬期休暇中はもとより、国家試験直前まで特訓補習を実施しました。今回の成果はこうした努力によって得られたものと思います。

第104回 歯科医師国家試験結果

3月22日、厚生労働省から「第104回 歯科医師国家試験」の結果が発表されました。全国平均としては、受験者3,378人中、合格者は2,400人、合格率は71.0%という中、福岡歯科大学からは新卒者97人及び既卒者25人、計122人が受験し、82人が合格しました。合格率は新卒で72.2%、既卒と合わせて67.2%と不本意な結果となりました。今回の結果を反省材料として、次回国家試験全員合格に向けて努力を始めています。再挑戦の皆さん、在学生の皆さんの奮起を期待します。

平成22年12月より本学においてe-learningシステムが運用され始めました。平成20年度、戦略的・大学連携支援事業に選定された取組「口腔医学の学問体系の確立と医学・歯学教育体制の再考」の一環です。本システムは、学生がネット上の口腔医学用教材にアクセスし、より便利に自己学習できるようにするものです。そのために本学の学生と教職員全員に対してアカウントを発行し、それによって教職員はネット上での教材作成が、学生はその教材

の利用が可能になりました。本システムが目指しているのは、現在の歯科医学教育を時代にマッチした口腔医学教育として再編し、連携大学全体で共有し、口腔医学の知識定着に用いることができるようにすることです。本システムが全面的に稼働すれば、口腔疾患と全身疾患との関連について十分な知識を持ち、口腔ケアを含む口腔疾患の予防・治療を行える医療人の育成に大きく寄与することでありましょう。

また、本学の学内LAN、無線LANアクセスポイントも設置され、利用には使用パソコンへ認証のための証明書のインストールが必要(1階の学生ホールや各講義室において無線LANの利用が可能となりました。さらに、講義室の机の下にPC使用のための電源コンセントを敷設し、ノートパソコンの学業利用を容易にしました。

現在、学内LANからの利用のみに限定されていますが、利用可能な方はぜひ <http://fdccal.student.tdc-net.ac.jp/websec41/コアカセスして>、新しいe-learningシステムを体感してみてください。

教育環境

今後の教育効果に期待
本学「e-learning」システムが稼働開始

定年退職を迎えて



咬合修復学講座
口腔インプラント学分野
教授 **松浦 正朗**

この3月8日に65歳の誕生日を迎えました。昭和21年の生まれですので、太平洋戦争が終結した年です。まだ焼野原のところがたくさんあった静岡市で育ちました。鶴見大学口腔外科学第一講座の助教授を辞し、1998年11月に福岡歯科大学の口腔インプラント学分野に赴任し、あつと言つ間の12年5ヶ月でした。今まで周囲の皆様から限りないご支援をいただき、無事(一応)任務を全うできたことを心より感謝いたします。今後とも福岡歯科大学口腔インプラント学分野にご支援とご助言をお願いいたします。



口腔保健学講座
医療統計学分野
教授 **金崎 信夫**

本学開学の昭和48年4月に赴任して以来、教育と研究を物理学研究室で28年間、医療統計学分野で10年間担ってまいりましたが、いよいよ定年退職することとなり今は感無量の気持ちと一抹の寂しさで一杯です。教職員の皆様には長い間本当にお世話になりました。改めて感謝します。最後に、本学が難局を乗り切り、今後ますます発展しますよう心より祈念します。



福岡医療短期大学・歯科衛生学科
教授 **日高 三郎**

福岡歯科大学開学の昭和48年に口腔生化学講座に助手として赴任して歯科大に24年間、さらに平成9年の福岡医療短期大学開学と同時に、歯科衛生学科に赴任して14年間、計38年間、歯科教育に関わったことに感謝します。



総合医学講座
内科学分野
教授 **中島 與志行**

平成6年7月に白井洗前教授の後任として福岡歯科大学内科学教室に赴任しましたが、移行期の慌ただしい中、赴任前の6月から講義、診療を担当したことを昨日のこのように思い出します。この16年間を振り返りますと、福岡歯科大学はイノベーションとともに大きく発展しています。この間多くの教職員の皆様方にお世話になりました。心から御礼申し上げますとともに、本学の更なるご発展を祈念いたします。

退職のごあいさつ

サンシャインシティ 施設長 **松葉 健一**

大学キャンパス内の介護施設として注目されたサンシャインシティは、開設されて9年になります。その間、利用者の安全、ならびに教育と地域への貢献をモットーとして運営に携わり、500名近くの入所者に接してきました。幸いなことに、大きな事故を起こすことなく過ごすことができました。これも、一重に学園側のご指導と、介護の現場に携わる人、それを支える人など、職員一人一人の日夜を分かたぬ懸命な努力の賜物と思うと、本当に良い施設で優秀な職員に恵まれたものだ、と、深い感謝の気持ちで一杯です。今後、介護保険の改正をはじめとして、シティをとりまく環境も著しく変化すると思われ、更なる発展を祈念いたします。



新役職教員

新役職教員が
決まりました



今後2年間、大学運営の中核を担う新役職教員

| | |
|-------------|--------------------|
| 病院長 | 小島 寛 (障害者歯科学分野・教授) |
| 学生部長 | 岡部 幸司 (細胞生理学分野・教授) |
| 情報図書館長 | 大関 悟 (口腔腫瘍学分野・教授) |
| 口腔・歯学部門長 | 佐藤 博信 (冠橋義歯学分野・教授) |
| 全身管理・医歯学部門長 | 湯浅 賢治 (画像診断学分野・教授) |
| 社会医歯学部門長 | 埴岡 隆 (口腔健康科学分野・教授) |
| 基礎医歯学部門長 | 谷口 邦久 (病態構造学分野・教授) |
| 学生部次長 | 高橋 裕 (有床義歯学分野・教授) |
| 学生研修センター主事 | 阿南 壽 (歯科保存学分野・教授) |

2月15日に開催された第43回理事会において、3月31日をもって任期満了となる福岡医療短期大学長の選任が審議され、栢豪洋・現学長の再任が決定しました。任期は平成23年4月1日から3年間です。

短大学長

福岡医療短期大学長に
栢豪洋先生を再任



今年度は12名の客員教授、
2名の客員准教授をお迎えいたしました

客員教授

| | | | |
|--------------------|----------------------------------|--------|-----------------|
| 関口 睦夫 | 福岡歯科大学・先端科学研究センター長 | 内藤 正俊 | 福岡大学病院・病院長 |
| 水田 祥代 | 九州大学・名誉教授 | 水口 清 | 東京歯科大学・法歯学・教授 |
| 松浦 正朗 | 前福岡歯科大学・教授 | 西間 三壽 | 国立病院機構福岡病院・名誉院長 |
| 中山 宏明 | 九州大学・名誉教授 | 宮本 新吾 | 福岡大学医学部・産婦人科・教授 |
| TAKAHASHI MASAYUKI | フランス国立科学研究機構・ナント大学共同研究所タンパク機能部門長 | 久保 真一 | 福岡大学医学部・法医学・教授 |
| 山内 三男 | ノースカロライナ大学・教授 | 大慈 弥裕之 | 福岡大学病院・副病院長 |

客員准教授

| | |
|-------|-------------------------|
| 師井 洋一 | 九州大学大学院医学研究院・皮膚科学分野・准教授 |
| 奥田 貢介 | 奥田・二子石法律事務所・弁護士 |

今年度は17名の臨床教授、
5名の臨床准教授をお迎えいたしました

臨床教授

| | | | |
|--------|-----------------|-------|---------------------|
| 上田 秀朗 | うえだ歯科医院・院長 | 下田 恒久 | 中央歯科・口腔外科クリニック・理事長 |
| 中牟田 博敬 | 熊本大学医学部医学科臨床教授 | 住吉 周平 | スミヨシ歯科口腔外科こども歯科・院長 |
| 中 四良 | 中歯科医院・院長 | 橋本 敏昭 | はしもと小児歯科医院・院長 |
| 小柳 進祐 | 小柳歯科医院・副院長 | 久芳 陽一 | くば小児歯科医院・院長 |
| 土屋 嘉都彦 | 土屋デンタルクリニック | 石井 香 | いしいかおり小児歯科・院長 |
| 勝俣 辰也 | かつまた歯科小児歯科医院・院長 | 荒川 周幸 | あらかわ歯科・矯正歯科クリニック・院長 |
| 松永 興昌 | 前福岡歯科大学・講師 | 田畑 修 | 田畑歯科医院・院長 |
| 添島 正和 | 添島歯科クリニック・院長 | 米津 康一 | メディカルライフクオリティ |
| 長島 義之 | 長島病院歯科・院長 | | |

臨床准教授

| | | | |
|-------|--------------------|-------|-----------|
| 山田 潤一 | 福岡天神インプラントクリニック・院長 | 大森 桂二 | 大森歯科医院・院長 |
| 田中 靖彦 | タナカ・デンタル・クリニック | 吉永 修 | 吉永歯科医院・院長 |
| 神 恭範 | さかきデンタルオフィス・院長 | | |

新任・昇任教員

本学新任教員・昇任教員をご紹介します

福岡歯科大学

新任



こが ちひろ
准教授 **古賀 千尋**
(口腔外科学)

【略歴】
福岡歯科大学歯学部卒。久留米大学大学院医学研究科外科系専攻博士課程修了。久留米大学医学部助手、講師、助教授。米国インディアナ大学歯学部 (IUPUI) 留学。久留米大学医学部准教授を経て平成23年3月1日福岡歯科大学准教授に就任。医学博士。福岡県出身。

【抱負】
本学の提唱する口腔医学に基づき口腔を全身の一臓器として診ることのできる歯科医師育成を目指します。臨床、研究、教育とバランスのとれた仕事を目標に精進しますので、今後とも御指導、御鞭撻の程、宜しくお願いいたします。

昇任



ながしま てつや
教授 **永嶋 哲也**
(医療倫理学)

【略歴】
九州大学文学部卒。九州大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学。九州大学文学部助手、九州大学、長崎大学、福岡大学ほか多大学での非常勤講師を経て平成19年、福岡歯科大学准教授に就任。平成23年4月1日同大学教授に昇任。文学博士。福岡県出身。

【抱負】
哲学から医療倫理学まで思想系の一般教育科目を担当します。いわばリベラルアーツの要を任される事を意味し、身の引き締まる思いです。専門教育の基礎として本学の全人的教育に寄与できるよう努力してまいります。

昇任



ふくしま ただお
教授 **福島 忠男**
(再生医学研究センター)

【略歴】
東海大学工学部卒、同大学院工学研究科修士課程修了。福岡歯科大学助手、講師、助教授、米国ペーラー歯科大学留学、福岡歯科大学准教授を経て平成23年4月1日同大学教授に昇任。工学修士、歯学博士。福岡県出身。

【抱負】
歯科医療工学講座から再生医学研究センターに移りますが、仕事の内容はあまり変わりません。センターの管理・運営を担いながら、センターをさらに充実させて研究の活性に貢献できるように最大限努力します。

新任



かわの よういち
教授 **川野 庸一**
(眼科学)

【略歴】
九州大学医学部卒。同大学院医学系研究科修了。米国立眼研究所 (NEI) 免疫部門訪問研究員、九州大学医学部眼科助手、講師、浜の町病院視覚器外科、眼科部長を経て平成23年4月1日福岡歯科大学教授に就任。博士 (医学) 福岡県出身。

【抱負】
ぶどう膜炎などの眼科領域の炎症性疾患や腫瘍性疾患に携わってきましたが、浜の町病院では白内障、緑内障や網膜硝子体疾患の手術にも多くかかわってきました。これらの経験を今後の診療・研究・教育に生かしていきたいと思ひます。

新任



かねみつ よしお
教授 **金光 芳郎**
(心療内科学)

【略歴】
九州大学医学部卒。同大学院心身医学専攻博士課程修了。米国立衛生研究所 (NIH) 留学。九州大学病院心療内科助教を経て、平成23年4月1日福岡歯科大学教授に就任。医学博士。福岡県出身。

【抱負】
心療内科の目指すところは全人的医療にあります。こころや社会的背景をも含んだ、全身を診る口腔医学がさらに発展していくために、心身医学領域での経験や知識を生かして貢献していきたいと考えています。

昇任



はしもと けんいちろう
講師 **橋本 憲一郎**
(口腔腫瘍学)

【略歴】
福岡歯科大学卒。福岡歯科大学大学院博士課程修了。福岡歯科大学口腔・顎顔面外科学講座助教を経て、平成23年4月1日同大学講師に昇任。博士 (歯学) 福岡県出身。

昇任



かがわ とよひろ
講師 **香川 豊宏**
(画像診断学)

【略歴】
福岡歯科大学歯学部卒。福岡歯科大学放射線科助手、画像診断学分野助教を経て、平成23年4月1日、同大学講師に昇任。博士 (歯学) 香川県出身。

昇任



いとう りよこ
講師 **伊東 理世子**
(生化学)

【略歴】
九州大学大学院修士課程修了。福岡歯科大学助手、助教を経て、平成23年4月1日同大学講師に昇任。博士 (システム生命科学分子生物学) 福岡県出身。

新任



まき たかこ
講師 **牧 貴子**
(麻酔管理学)

【略歴】
長崎大学医学部卒。九州大学大学院医学系学府博士課程修了。平成23年4月1日福岡歯科大学講師に就任。博士 (医学) 山口県出身。

新任



まつもと ひさのぶ
講師 **松本 久伸**
(外科学)

【略歴】
熊本大学医学部卒。福岡大学大学院医学研究科博士課程修了。福岡大学消化器外科助教、地域医療の中核病院勤務を経て平成23年4月1日福岡歯科大学講師に就任。博士 (医学) 福岡県出身。

新任



はった みつとき
講師 **八田 光世**
(分子機能制御学)

【略歴】
北海道大学歯学部卒。同大学院歯科研究科歯学基礎系専攻博士課程修了。北海道大学大学院歯学研究所助手、米国立スコンシン医科大学博士研究員、熊本大学大学院生命科学研究所助教を経て、平成23年4月1日福岡歯科大学講師に就任。博士 (歯学) 北海道出身。

福岡歯科大学では11名、福岡医療短期大学では8名の教員が新任・昇任されました。

福岡医療短期大学

昇任



ちねん まさたけ
教授 **知念 正剛**
(保健福祉学科)

【略歴】
琉球大学理工学部卒。熊本大学理学研究科修士課程修了。福岡歯科大学助手を経て、平成9年福岡医療短期大学助教授に就任。平成23年4月1日同短期大学教授に昇任。沖縄県出身。

【抱負】
歯科部から歯科衛生学科に移って卒業研究や勉強会を通じていろいろと歯科の分野を勉強させていただきました。今度は保健福祉学科に移りますが、介護は将来の自分の問題でもあります。力を尽くしていきたいと考えています。

昇任



ほりべ はるみ
教授 **堀部 晴美**
(歯科衛生学科)

【略歴】
日本大学歯科衛生士学校、ならびに西日本短期大学法科第2部社会福祉法学コース卒。福岡歯科大学附属病院、福岡歯科大学附属歯科衛生専門学校専任教員、福岡医療短期大学歯科衛生学科助手、講師、准教授を経て、平成23年4月1日同短期大学教授に昇任。東京都出身。

【抱負】
社会のニーズに対応でき、出生前から終末期の見とりまで、多職種と連携して歯科医療に貢献できる、そんな幅広い思考のできる「歯科衛生士」という女性を育てたいと考えます。

昇任



ひろせ たけし
教授 **廣瀬 武尚**
(歯科衛生学科)

【略歴】
福岡歯科大学歯学部卒。同大学大学院歯学研究科博士課程修了。福岡歯科大学助手、講師。米国南カリフォルニア大学(USC)留学。福岡医療短期大学准教授を経て、平成23年4月1日同短期大学教授に昇任。歯学博士。福岡県出身。

【抱負】
矯正歯科治療をとおして歯列、咬合の育成、再構築を行い、口腔機能の改善に努めてきました。福岡医療短期大学では、チーム医療を担う歯科衛生士の育成とともに、高齢社会における口腔機能の維持、改善にも取り組んでいきたいと思ひます。

昇任



いのうえ ゆうすけ
教授 **井上 勇介**
(歯科衛生学科)

【略歴】
鹿児島大学工学部卒。昭和51年より福岡歯科大学助手。平成9年4月より福岡医療短期大学助教授、准教授を経て平成23年4月1日同短期大学教授に昇任。歯学博士。福岡県出身。

【抱負】
歯科材料学は臨床に直結する基礎科目であり、情報処理は現代人必須のスキルとなっています。これまで本学で培った教育と研究の経験を生かし、短大の教育・研究の活性化に寄与できるように努力いたします。

昇任



いだ たかゆき
教授 **井田 高之**
(歯科衛生学科)

【略歴】
福岡大学経済学部卒。和歌山大学大学院経済学研究科、福岡大学大学院経済学研究科修了。福岡大学経済学部非常勤講師、福岡歯科大学歯学部専任講師、福岡医療短期大学助教授、准教授を経て平成23年2月1日同短期大学教授に昇任。経済学修士(和歌山大学)福岡県出身。

【抱負】
福岡歯科学園において、社会系科目の教員として教鞭をとることを誇りに感じ、日々努力しています。担当科目は経済学、医療経済学、社会保障論、福祉経済論等々です。自分を取り巻く状況に目を向けて、社会的なものの見方・考え方を身につけてほしいと願っています。

新任



ふるの
講師 **古野 みはる**
(保健福祉学科)

【略歴】
別府大学文学部卒。福岡県立大学大学院人間社会学研究科福祉社会専攻修了。福岡県介護保険広域連合田川支部訪問調査員、同鞍手支部地域包括支援センター管理者を経て、平成23年4月1日福岡医療短期大学講師に就任。福岡県出身。

新任



ながた たまき
講師 **永田 瑞生**
(保健福祉学科)

【略歴】
中村学園大学栄養科学部卒。同大学大学院栄養科学研究科博士後期課程満期退学。平成23年4月1日福岡医療短期大学講師に就任。修士(栄養科学)福岡県出身。

昇任



さいた なおき
講師 **齊田 直樹**
(保健福祉学科)

【略歴】
熊本学園大学商学部卒。一般企業を経て保健福祉学科前身の福岡医療専門学校を一期生として卒業。老人保健施設で現場経験後、平成17年4月より福岡医療短期大学助教。平成23年4月1日同短期大学講師に昇任。保健福祉学科同窓会長。福岡県出身。

キャンパス 歳事記

今年も満開の桜たちが
学園を彩りました



共用試験

第4学年の95人が
CBTならびにOSCEを受験

臨床実習前の第4学年95人は、平成23年度共用試験として、3月1日にCBT（知識・思考力・問題解決能力を問う多肢選択式試験でコンピュータを使った試験）ならびに3月6日にOSCE（技能・態度を客観的に評価する臨床能力試験）を受験しました。この共用試験は、診療参加型臨床実習に参加する学生に必要とされる基本的知識と問題解決能力、基本的技能と基本的態度を評価することによって、患者さんにとって安全であり、また学生にとっても学びの多い臨床実習を行うために全国すべての歯学部で実施されるものです。

登院式

医療短期大学歯科衛生学科の
新3年生69人が戴帽を受ける

4月12日、福岡歯科大学本館講堂にて平成23年度福岡医療短期大学歯科衛生学科登院式が執り行われました。同学科新3年生69名は、来賓、法人役員、教員、在学生、父兄等が見守る中、名前が呼ばれると緊張した面持ちで一人ひとり壇上上がり、栢短大学長から戴帽を受けました。いよいよ医科歯科総合病院での臨床実習が開始され、歯科衛生士に向けての実践的な第一歩が始まりました。



歯科医師臨床研修

臨床研修歯科医師として
63人が研修を開始

4月1日、平成23年度歯科医師臨床研修開始式が執り行われ、63人が辞令を受け臨床研修歯科医師として研修を開始しました。研修は、単独型・複合型プログラムとありますが、医科歯科総合病院のみ、あるいは医科歯科総合病院とその他の協力型臨床研修施設に登録されている歯科医院等において来年3月まで行われます。



学友会

平成23年度の学友会
総務委員長、決まる

任期満了に伴う福岡歯科大学学友会総務委員長の改選が1月21日に行われ、竹島朋宏さんが総投票数468票中415票(88.7%)の信任票を獲得し、4月1日付けで平成23年度学友会総務委員長に就任することが決定しました。



短期大学父兄後援会

福岡医療短期大学父兄後援会長に
山本紫摩子氏を選任

4月6日、福岡医療短期大学入学式に引き続いて開催された保健福祉学科父兄後援会総会において、山本紫摩子氏が父兄後援会長に選任されました。同氏は「微力ながら皆様のお役に立てれば幸いです」と抱負を語られました。



大学父兄後援会

福岡歯科大学父兄後援会長に
白水智明氏が就任

3月12日に開催された福岡歯科大学父兄後援会理事会・評議員会合同会議において、同会長の改選が行われ、第18代会長として白水智明氏が選任されました。



【略歴】昭和57年九州歯科大学卒業（第30期）
【役職】福岡歯科大学同窓会 副会長
【抱負】大学と父兄後援会との連携を密にし、大学の教育運営に協力し、皆様の御子弟が有意義な学生生活を過ごし、優秀な歯科医師となられるよう努力いたしますので、皆様のご理解とご協力の程、宜しく申し上げます。

学友会

新入生対象にクラブ紹介イベント開催

4月1日の入学式後、体育館にて新入生を対象とした学友会クラブ紹介が行われました。毎年、各クラブ員が部員勧誘のためにそれぞれに工夫を凝らし、クラブの活動状況などを発表しています。新入生らは、先輩クラブ員の熱心でユーモアあるクラブ紹介に期待を膨らませているようでした。今年も、多くの新入生がクラブに加入し活動していくことを願います。



コラム「定心」

期待と結末

東日本大震災が発生し、多くの尊い人命が失われ、街が一瞬のうちに消えてしまった現実にも声も無くなってしまいます。犠牲者のご冥福をお祈りします。それからひと月、被災地に元気がすこしずつ戻ってきたことは、私達をも勇気づけ、強い意志と努力があ

ればどんな困難にも打ち克てることを教えてくれました。一方で、次から次に起こっている福島原発の機能不全については、組織だった対応が出来ていないこともあって、非難の声も聞こえています。原発の制御に取り組んでいる人たちも危険を省みず不眠の努力をしているのですが、この受け止め方の違いはなんでしょうか。前者は全てが期待の実現に向かい、後者は事態の好転につ

ながっていないことによるのかもかもしれません。快・不快は利己的な感情ですが、期待が大きいほど快・不快も大きくなるので、社会をも飲み込む力を持っています。被災者が何を期待しているのかに思いを馳せながら、同時に、大学は何を期待しているのか、学生やご父兄が何を期待しているのか、私は何を期待しているのかと、日常を改めて考える毎日です。

愛媛県同窓会 学術講演会

解りやすい講演であつという間の1時間30分

佐々木 誠 (23期)

平成22年11月6日(土)15時30分から17時まで、愛媛県歯科医師会松山支部ホールにて愛媛県同窓会学術講演会が開催されました。

講師に福岡歯科大学咬合修復学講座有義歯学分野講師の都築尊先生をお招きして、福岡歯科大学補綴科における義歯臨床への取り組みという演題で講演されました。

参加者は福岡歯科大学卒業生16名で和やかな雰囲気が始まりました。講演冒頭では現在の福岡歯科大学や周辺の写真を写されて自分達が学生の時代とは異なる景色、環境に時の流れを感じました。義歯臨床は普段の診療で避けては通れない分野。愛媛という高齢化のやや進んだ地域では尚更。義歯作成の難易度を残存歯の部位、本数によってアカデミック



クに分析される内容は大学や臨床で学んだ知識をより深く広く推し進めた内容で明日からの臨床に繋がるものでした。また義歯を作成するにあたり難症例にしないために残存歯のケアが大切であるということも臨床において大切な視点であるとの言葉が重く響きました。解りやすい講演であつという間の1時間30分でした。



その後会場を移し、窪田将臣愛媛県同窓会会長の挨拶から懇親会が行われました。1期生から27期生の同窓が交流をさらに深める事の出来た時間でした。来年は福岡歯科大学愛媛県同窓会創立20周年を迎えます。ますますの発展、繁栄を目指し努力する事を誓い、会を終りました。都築先生におかれましては公務多忙の中、愛媛県まで足を運び頂き感謝申し上げます。

卒業生 NOW

「挑戦」

岡 沙代子 (31期)

みなさんこんにちは。31期生の岡 沙代子です。私は2010年3月に福岡歯科大学医科歯科総合病院歯周病科および開業歯科医院にて初期研修修了後、2010年4月より後期研修医として、島根大学医学部附属病院歯科口腔外科学講座に入局しました。



私が所属している島根大学歯科口腔外科学講座は、現在関連病院出向医師を含め、約60名の医局員が所属しております。医学部附属病院歯科口腔外科としては、大規模な講座です。当科教授である関根浄治先生は、母校の11期生ですが、私が学生の頃に歯科英語の授業で使っていた教科書「Understanding Dentistry」の編集者なのです。また、学生時代に論文作成をされるなど、常に先を見据えた素晴らしい先生です。

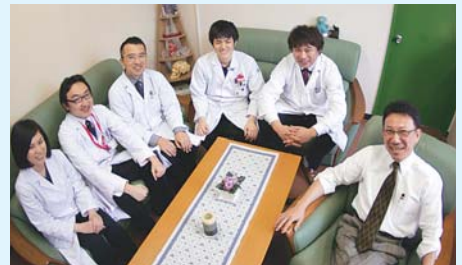
島根に来て1年経とうとしていますが、他の大学病院では経験できない救急研修・世界標準の診療を行なう開業歯科医院での研修をさせて頂き、

全身管理に重点を置きつつも、口腔領域の治療を行なう重要性を身をもって学びました。

また、講座で年2回開催されるCAIによる接遇セミナーを受講し、患者さんに敬意を持って接することの大切さを改めて実感しました。

現在当科の福岡歯科大学卒業生は、関根浄治教授をはじめ7名です。本年4月入局予定の2名を加え9名となり、ますます医局が活気づきます。また、私も来年度より歯科医師3年目(口腔外科医2年目)を迎えます。まだまだ未熟ですが、現在の私の目標は、再来年度に口腔外科専修医の資格を取得することです。そのため、日々臨床および研究に励んでおります。1日も早く一人前の口腔外科医になれるよう、一生懸命頑張ります。

母校の福岡歯科大学に負けないよう、関根浄治教授を筆頭に、島根から世界へと羽ばたきます。



関根浄治教授 右前 ほか、福岡歯科大学出身医局員の皆さん

同窓生からの手紙

大分県歯科医師会会長に長尾博通先生(1期生)決定

上田 源 (5期)

同窓会会員の皆様には於かれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、我が大分県同窓会から嬉しいご報告がございます。1期生の長尾博通先生が大分県歯科医師会会長に決定いたしました。

長尾博通先生は初代大分県同窓会会長として県内での福岡歯科大学同窓会の存在を高められ、また県歯会に於いても社保担当理事、専務理事としてご活躍されました。

満を持して昨年11月に会長立候補の意志を表明され、同窓会会員に限らず多数の大分県歯科医師会会員からの絶大な信頼のもと、会員を割る選挙をする事無く、無投票で今年1月次期会長に決定されました。

公約として①会員の為の会を心掛ける②公益法人改革の遂行③大分県歯科条例の制定④障がい者歯科医療の環境整備 以上を挙げております。

佐賀県歯科医師会の寺尾隆治会長も4期目を迎えられ、今後お二人で九州歯科界を盛り上げ、より良き歯科医師会を築き上げて頂けるよう、同窓生一同の結束を固くして協力させて頂こうと考えております。



大分県歯科医師会会長に決定した長尾博通先生

一継承

三代にわたる信頼と実績を傷つけないよう、精進の日々

皆

様こんにちは。私は平成15年に福岡歯科大学を卒業しました。卒業研修を経た後、咬合修復学講座、有床義歯学分野に2年間在籍し、高橋裕先生、清水博史先生に御指導いただき、その後、山口県下松市時枝歯科で臨床経験を積ませてもらいました。

平成18年9月から、京都府木津川市で父が営む柿木歯科に副院長として勤め、平成19年には結婚し現在に至るまで家族とともに診療に励んでおります。京都府木津川市は、京都府南部に位置し、CMでお馴染みのお茶伊右衛門を作った福寿園の創業地であり、お茶の産地です。そこで私の曾祖父が、柿木歯科を開業して以来、地域の皆様のおかげで柿木歯科も私で四代目になります。年配の患者さんだと、私の祖父の代から来院されている方もいます。若



現在、親子二代で診療にあたっている柿木歯科診療所

柿木 政芳 (25期 / 柿木歯科診療所 京都府木津川市)



父でもある医院長の正行さん(写真前列左)スタッフの皆さんとともに

先生でワシは三代に渡って診てもらっているわ。宜しく頼みます」と患者さんの温かい言葉をもらうことがあり、先代と患者さんに感謝するとともに先代から大事に受け継がれてきた患者さんとの信頼と実績に傷をつけないようにしなければと身の引き締まる思いです。じきに私も父に代わり院長になるとはいえまだまだ父の知識と経験には遠く及ばない未熟者ではありますが、日々精進し歯科医療の発展と地域医療に貢献できたらと思っています。

現在の歯科界をとりまく環境は悪化しておりますが患者さん一人ひとりと真摯に向き合い誠意をもって診療すれば必ずこの厳しい時代を乗り越えられると信じております。

最後になりましたが、同窓生の皆様の御健康と御活躍を心よりお祈り申し上げます。

一笑顔・謙虚・感謝

患者さんからの「ありがとう」を励みにがんばっています

同

窓生の皆様こんにちは！21期生の田上佳輝と申します。平成11年に卒業後、福岡大病院歯科口腔外科に入局し、故・都温彦先生のご指導のもと2年間有意義な研修をさせて頂きました。その後福岡市内の歯科医院で代診としてお世話になり、歯科医師としての色々な経験をさせて頂きました。そして平成20年10月、福岡市城南区別府にて、たのうえ歯科医院を開院し、3年目を迎えたところです。

最近では石の上にも5年」と言われているところで、地域に根付き、実らせる為に

田上 佳輝 (21期 / たのうえ歯科医院 福岡県福岡市)



開業3年目を迎えた「たのうえ歯科医院」

もう少し時間がかかりそうですが、来院して下さる患者さんの診療には全力を尽くして、少しでもお役に立てればと思っております。

この御時世、歯科医療といえどもサービ

ス業。その為にも、いかに患者さんを満足させ、信頼関係を築くことができるかを常に意識して診療にあたっています。この歯科医院に来て良かったと思ってもらえる様に、そして患者さんからの「ありがとう」の一言を楽しみに、「笑顔・謙虚・感謝」を医院訓として、スタッフ共々日々努力しているところです。

最後になりましたが、福岡歯科大学の今後の発展をお祈り申し上げますと共に、この場をお借りして、開業にあたって色々な方々に支えて頂いた事を心より感謝申し上げます。また、開院から今日まで一生懸命頑張っている私の自慢のスタッフ、および家族に「ありがとう！」の言葉を送りたいと思います。

体が資本のこの職業、同窓生の皆様の御健康と御活躍を心よりお祈り申し上げます。



スタッフの皆さんと

From Students

CBTを経験して改めて感じた
歯科医師になることへの自覚

小山 美香 (大学4年)

今回、CBTを経験して、改めて歯科医師となることを強く自覚しました。CBTの勉強は大変ではありましたが、この勉強を通して、今までの学習の整理ができ、さらに、自分自身の苦手な分野を見つけ出すことができました。今後、私たち学生が臨床の現場において勉強させていただく上で、患者さんのご理解と信頼を得るために、このCBTの勉強で得たことは有用で、かつ不可欠な知識になると感じています。



OSCEを終えた今、感じること

小野 由湖 (大学4年)

気づけば梅香る季節となっていた。これほど一年の巡りを早く感じたことはない。先日OSCEを終え、登院実習を目前にしている。こうして無事終えることができたのも、先生方の丁寧なご指導があったからこそだと確信している。これから臨床の場での一步を踏み出すのだと思うと、身の引き締まる思いがすると同時に机上では学べない新たな学びが楽しみでもある。医療人としてあるべく姿を模索しながら邁進していきたい。最後に、OSCE運営に携わったすべての方にこの場を借りてお礼申し上げます。



保護者様からのメッセージ

FROM PARENTS

よく考えて

最近、歯科界についてのあまりいい話を耳にすることがありません。資格試験から選別試験へと形を変え難化する国家試験、歯科医師数の過剰など、学生にとっては将来に不安を抱く話ばかりだと思います。

しかし歯科医師という職はやりがいがあります。食べることは生きることであり、同じ食卓で家族が同じ食事を一緒に食べることに幸福の原点があると思います。その食に密接に関係しているのが歯科医師です。また歯科の将来として、歯周病と糖尿病、脳梗塞症との関係や無歯顎・義歯未装着者と認知症との関係、歯髓細胞がips細胞の最適な供給源であることなどが解明されて、医科などの他業種と連携して行うことが多くあります。

今年の一月、日本歯科医師会は厚生労働省に対して、国家試験について、全身疾患に対応できる為の出題構成と選別試験の是非(禁忌肢問題のあり方や相対的に一定の不合格者を決める相対基準方式)の再検討を要望しています。これは大学が早くから掲げている『口腔医学』の理念と重なり合います。

未来は闇雲に歩いていっても向こうからは来ません。社会は変化します。要求も変わってきます。よく考えて、行動に移してほしい。そうすることで、今何をしなければいけないかが解ってきます。

親として、歯科医療、大学の先輩として、未来を開拓し、地域社会に貢献する口腔医になってほしいと思う、今日この頃です。



松村 幸治 様
(父兄後援会・鹿児島県支部長)

福岡歯科大父兄後援会福岡中央支部
卒業生を送る会に出席して

福岡歯科大学父兄後援会・福岡中央支部では3月6日、卒業生を送る会を行いました。卒業生の他、谷口先生、湯浅先生、在校生、保護者40名ほどが集まり、とても楽しい時間を過ごさせていただきました。私も福岡歯科大6期生中央支部出身です。学生の頃、父兄や先輩方と2次会で中洲に行ったことを思い出しました。いい友人、先輩、先生など、めぐり会い、知りあえた多くの人々が財産になると思います。

今の学生達は本当に勉強し頑張っていると思います。しかし、歯科医師国家試験は資格試験から選抜試験になってしまいました。私は間違っていると思いますが、資格試験に戻りそうもありません。歯科大生にとって歯科医師国家試験は最大の目標ですが、歯科医師として見ると、国家試験はただの通過点に過ぎません。大切なことは、早い時期から歯科医師になるという自覚を持つこと、そして自主的に勉強ができる環境が必要であると思います。

私はこれまで3年間、福岡歯科大父兄後援会の監事を務めさせていただきました。中会長から日高会長、理事、評議員の父兄の方と知り合うことができ、また、こんなに素晴らしい会があることを知ることができ、感謝しています。父兄後援会は学生が6年間、留年なく全員国家試験に合格することを目指しています。父兄後援会支部懇談会の出席状況については、平成22年度は64.2%でした。国家試験が選抜試験である以上、私たち父兄も協力が必要だと思います。


重ねて申し上げますが、学生達は頑張っています。大学の先生方、また学生に年の近い先輩先生方、これからも御指導御協力のほど、よろしくお願いいたします。



國廣 新一 様
(父兄後援会)


平成24年度 入学試験日程

福岡歯科大学

| 区分 | 歯学部 | | | | | | | 大学院 歯学研究科 | |
|--------|--|------------------------|-------------------------|-------------|----------------------|----------------------|----------------------|--|----------------------|
| | AO入試I期 | 推薦・指定校推薦入試 | 一般入試A日程 | センター試験利用入試期 | 一般入試B日程 | センター試験利用入試期 | AO入試II期 | 一次募集 | 二次募集 |
| 募集人員 | 約30名 | 約15名 | 約35名 | 約4名 | 約5名 | 約4名 | 約3名 | 約18名 | |
| 願書受付期間 | H.23.8.1(月)~26(金) | H.23.10.24(月)~11.11(金) | H.24.1.4(水)~30(月) | | H.24.1.23(月)~2.17(金) | H.24.1.23(月)~2.15(水) | H.24.2.22(水)~3.13(火) | H.23.7.25(月)~8.12(金) | H.24.1.23(月)~2.10(金) |
| 試験日 | H.23.8.28(日) | H.23.11.12(土) | H.24.2.2(木) | | H.24.2.21(火) | | H.24.3.14(水) | H.23.8.18(木) | H.24.2.18(木) |
| 合格発表日 | 一次 H.23.8.30(火) 二次 H.23.10.5(水) | H.23.11.16(水) | H.24.2.6(月) | H.24.2.8(水) | H.24.2.22(水) | | H.24.3.15(木) | H.23.8.31(水) | H.24.2.28(火) |
| 試験会場 | 福岡歯科大学 および、新大阪丸ビル | | 福岡歯科大学 および、東京ガーデンバレス | | 福岡歯科大学 | | 福岡歯科大学 | 福岡歯科大学 | 福岡歯科大学 |
| 問合せ先 | 〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 福岡歯科大学学務課入試係 TEL.092-801-1885(直通) FAX.092-801-0427 ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp/col E-mail gakumu@college.fdcnet.ac.jp 携帯電話用ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp/colhp | | | | | | |  携帯電話からのアクセスはこちらから! | |

福岡医療短期大学

| 区分 | 歯科衛生学科 | | | | | | | 専攻科・口腔保健衛生学専攻 | | | |
|--------|--------------------|-----------------------|-------------------|-------------------|-------------------|---------------------|--------------------|---------------------------------|----------------------|----------------------------|----------------------|
| | 指定校推薦入試 | 公募推薦入試(I) | 公募推薦入試(II) | 一般入試A日程(社会人含む) | 一般入試B日程(社会人含む) | 一般入試C日程(社会人含む) | 一般入試D日程(社会人含む) | AO入試(社会人含む) | 一次募集 | 二次募集 | 三次募集 |
| 募集人員 | 約10名 | 約10名 | 約5名 | 約15名 | 約5名 | 若干名 | 若干名 | 約35名 | 約15名 | 約5名 | 若干名 |
| 願書受付期間 | H.23.10.3(月)~13(木) | H.23.10.24(月)~11.1(火) | H.23.12.1(木)~8(木) | H.24.1.4(水)~27(金) | H.24.2.2(木)~15(水) | H.24.2.20(月)~3.7(水) | H.24.3.12(月)~26(月) | 詳細は 入試係まで お問い合わせ ください。 | H.23.12.1(木)~12.8(木) | H.23.12.15(木)~H.24.1.12(木) | H.24.3.12(月)~3.28(月) |
| 試験日 | H.23.10.15(土) | H.23.11.3(木) | H.23.12.10(土) | H.24.2.1(水) | H.24.2.17(金) | H.24.3.9(金) | H.24.3.28(水) | | H.23.12.10(土) | H.24.1.14(土) | H.24.3.28(水) |
| 合格発表日 | H.23.10.21(金) | H.23.11.10(木) | H.23.12.15(木) | H.24.2.7(火) | H.24.2.22(水) | H.24.3.14(水) | H.24.3.29(木) | | H.23.12.15(木) | H.24.1.19(木) | H.24.3.29(木) |
| 試験会場 | 福岡医療短期大学 | 福岡医療短期大学 | 福岡医療短期大学 | 福岡医療短期大学 | 福岡医療短期大学 | 福岡医療短期大学 | 福岡医療短期大学 | 福岡医療短期大学 | 福岡医療短期大学 | 福岡医療短期大学 | 福岡医療短期大学 |

| 区分 | 保健福祉学科 | | | | | | | | AO入試(社会人含む) | | |
|--------|---|-----------------------|-------------------|-------------------|-------------------|---------------------|--------------------|---------------------------------|--|----------------------------|----------------------|
| | 指定校推薦入試 | 公募推薦入試(I) | 公募推薦入試(II) | 一般入試A日程(社会人含む) | 一般入試B日程(社会人含む) | 一般入試C日程(社会人含む) | 一般入試D日程(社会人含む) | AO入試(社会人含む) | | | |
| 募集人員 | 約10名 | 約5名 | 約5名 | 約5名 | 若干名 | 若干名 | 若干名 | 若干名 | 約15名 | | |
| 願書受付期間 | H.23.10.3(月)~13(木) | H.23.10.24(月)~11.1(火) | H.23.12.1(木)~8(木) | H.24.1.4(水)~27(金) | H.24.2.2(木)~15(水) | H.24.2.20(月)~3.7(水) | H.24.3.12(月)~26(月) | 詳細は 入試係まで お問い合わせ ください。 | H.23.12.1(木)~12.8(木) | H.23.12.15(木)~H.24.1.12(木) | H.24.3.12(月)~3.28(月) |
| 試験日 | H.23.10.15(土) | H.23.11.3(木) | H.23.12.10(土) | H.24.2.1(水) | H.24.2.17(金) | H.24.3.9(金) | H.24.3.28(水) | | H.23.12.10(土) | H.24.1.14(土) | H.24.3.28(水) |
| 合格発表日 | H.23.10.21(金) | H.23.11.10(木) | H.23.12.15(木) | H.24.2.7(火) | H.24.2.22(水) | H.24.3.14(水) | H.24.3.29(木) | | H.23.12.15(木) | H.24.1.19(木) | H.24.3.29(木) |
| 試験会場 | 福岡医療短期大学 | 福岡医療短期大学 | 福岡医療短期大学 | 福岡医療短期大学 | 福岡医療短期大学 | 福岡医療短期大学 | 福岡医療短期大学 | 福岡医療短期大学 | 福岡医療短期大学 | 福岡医療短期大学 | 福岡医療短期大学 |
| 問合せ先 | 〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 福岡医療短期大学入試係 TEL.092-801-0439(直通) FAX.092-801-4473 ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp/jcol/ E-mail gakumuj@college.fdcnet.ac.jp 携帯電話用ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp/jcolhp | | | | | | | |  携帯電話からのアクセスはこちらから! | | |

お見舞い申し上げます

このたびの東日本大震災により、犠牲となられた方々のご冥福をお祈りすると共に、被災された皆様方に、心よりお見舞い申し上げます。

一日も早い復旧と復興をお祈りすると共に、義援金募集活動や医薬品の提供など、本学ができることを開始しております。今後も、できる限りの支援をさせていただきます。

編集後記

今年の桜は開花が遅れ気味でしたが、入学式の頃には校内がみごとなピンク色に染まりました。東北地方や首都圏では、3月の地震によって入学式に大きな影響が出たところもあると聞いています。それを思うと、春恒例の行事がいつもと同じように繰り返される「ふつう」がいかにありがたいかを感じます。本号では第二次中期構想を全文掲載し、また、新任・昇任教員や関係領域で要職に就かれた方々の紹介に加え、大学施設の充実や学生の国際交流等、内容が盛りだくさんになっています。いつもよりページ数を増やしてお届けしていますが、みなさまに新年度を迎えた学園の活気が伝われば幸いです。

オープンキャンパス開催のお知らせ

福岡歯科大学 同窓生を対象とした
オープンキャンパス(5月29日 日)
入試説明会(6月12日 日)を開催します

同窓生を対象としたオープンキャンパス・入試説明会を下記の通り開催いたします。当日は本学在職の同窓生との昼食会も企画しております。同窓生の皆さま、ふるってご参加ください。

- 日時 ・オープンキャンパス/5月29日(日)10:30~14:40
・入試説明会/6月12日(日)13:00~16:10

場所 福岡歯科大学 集合場所 本館9階901教室

内容 ・施設見学・模擬実習・本学在職の同窓生および出席教員との昼食会
・大学概要説明・入学試験説明 など

お問合せ 福岡歯科大学 学務課 入試係
TEL / 092-801-1885(直通) E-mail / gakumu@college.fdcnet.ac.jp

福岡歯科大学・福岡医療短期大学
平成23年度・オープンキャンパス情報

本学への入学希望者をはじめ、そのご家族や高校・予備校の先生方を対象としたオープンキャンパスを右記の日程で開催いたします。各大学の入試係までお問合せのうえ、お気軽にご参加ください。

| 開催校 | 実施日 |
|----------|-------------------|
| 福岡歯科大学 | 7月31日(日)・8月21日(日) |
| 福岡医療短期大学 | 5月14日(土)・22日(日) |
| | 6月11日(土)・19日(日) |
| | 7月10日(日)・22日(金) |
| | 8月5日(金)・26日(金) |
| | 9月10日(土)・25日(日) |